

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 6年 3月 15日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3470101829		
法人名	社会福祉法人 あと会		
事業所名	グループホーム くにくさの家		
所在地	広島市安芸区阿戸町2941-1 (電話) 082-820-8088		
自己評価作成日	令和 6年 2月 15日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kunikusa.or.jp/service/group-home-kunikusa-no-ie/
-------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	運営推進会議による評価
所在地	
訪問調査日	令和6年2月28日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

グループホームくにくさの家は山々に囲まれた自然環境の中にあり、木の温もり・やすらぎのある家庭的な雰囲気のもと、個々の生活空間を大切に、穏やかに・心ゆたかに暮らすことができます。一人ひとりのペースを尊重した支援を行い、それぞれの習慣にあった生活をおくられ喜びに繋がっています。阿戸町内で行われる祭りやイベントにも参加し地域との交流、世代間交流等を交えることにより地域の人と親しみをもち、意欲的な日々をおくられています。またその人らしい暮らしを最後までおくれるよう看取りケアにも対応しており、重度化や看取り期に際しては看取り介護指針を定め、ご家族・ご本人の意向を伺いご希望に添った看取りケアが行えるよう訪問看護・かかりつけ医との連携、協力体制を取っています。大雨等の災害発生が予測される際には速やかに近隣の同法人施設の2階に避難を行い災害対策にも備えています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

職員の方も皆さんご利用者との会話を楽しまれているように感じました。机を円卓にすることで、ご利用者がそれぞれ視界に入りやすくなり会話が生まれやすい工夫もされていると思います。ご利用者それぞれの思い出の品や観葉植物等を飾られており、個別性のある空間であると感じました。施設内行事等の掲示も多くあったことからご利用者の皆さんがイベント事に楽しまれている様子がよくわかりました。共有スペースには季節を感じられる大きな展示物もあり、床暖房や実際の木を使用された勾配天井等視覚的にも体感的にもくつろぐことができると感じました。施設内には、テレビを観るため、畳の上で休憩するため、ご利用者、職員とコミュニケーションを図るため、屋外で自然を感じるため等ゾーニングができていますように感じました。往診やかかりつけ医との連携によって、入院された方が無事施設へ退院されたケースもあることを確認しました。人事考課制度について書式を拝見しましたが、項目事に細かく評価が分かれており、やりがいを感じて働けるように工夫されていると思います。個別面談も効果的に行われ職場環境の整備に努めておられます。運営推進会議に参加させていた際にご家族へも聞き取りを行いました。施設や職員の対応にとっても感謝しておられました。

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に繋がっている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ミーティング等で社会福祉法人あと会の理念3Yのころ(やすらぎ、よろこび、ゆたかさ)を、共有し、職員間の意識統一を図りながらケアを行っています。また事業所理念に基づき各自その年の目標を設定し実践しています。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	昨年まではコロナ禍の為、地域との交流はほとんど行えませんでした。今年度は敬老会・体育祭・町民祭り・清掃活動などを通して地域との交流が行えるようになりました。	地域で独居だったご利用者が入所前は度々トラブルを起こされていたが、入所されてからは穏やかな表情で暮らしておられる。ご利用者本人や職員と地域の方が直接接することによって認知症の人への理解が得られるのではないかと。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	昨年度までは感染予防の為関係者が集まっていた運営推進会議はできませんでしたが、今年の8月より皆様集まっていた運営推進会議を再開させて頂いています。皆様には施設内を見学して頂きご利用者との交流も行ってもらっています。そこで出た意見をサービス向上に活かしています。	8月より関係者の皆様に実際に現場を見ていただく事によって、口頭では伝わりにくい部分を確認でき、意見交換を行うことでサービス向上に活かせることができています。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域包括支援センターとは2ヶ月に1度運営推進会議にて施設内を見て頂きご意見を頂いています。市には運営推進会議の報告を2か月に1度行っています。また事故や感染症の報告・相談を随時行い協力関係を築くようしています。	以前として高齢者施設はクラスターが起りやすい場所ですので、日頃から広島市と連携することが大切だと思います。		

5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	勉強会やミーティングで広島市の動画での研修を参考にし職員全員が勉強する機会を設けています。玄関の施錠に関しては防犯上の理由の為現在は施錠を行っています。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員配置の都合上、研修等に参加する機会の確保が難しい面もあるかと思えます。受けた研修を内部で伝達する取り組みやミーティング等を通して今後も職員全員で周知いただき実践していただければと思います。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	勉強会やミーティングで広島市の動画での研修を参考にし職員全員が勉強する機会を設けています。話し合いの場を持ち、職員への意識付けを行い、意識の向上、ケアの質の向上に努めています。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所内部で高齢者虐待が発生しないことはもちろん、高齢者虐待防止法について種別や通報先等を学んだ上で、高齢者虐待の発見に努めることができるよう今後もご対応をお願いします。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所内での勉強会を通し権利擁護に関する制度、成年後見制度について学んでいます。個別に提案を聞く機会を持ち必要なことを書面等で全職員に伝えるようにしています。また話し合いの場を持ち、職員の理解を深めています。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約時にはご本人、ご家族と十分に話し合う時間を設け説明を行い質問を伺い納得のうえで契約をしています。また、制度の改正時などは文書を送付し更に口頭で説明を行い、ご理解納得をしていただけるよう努めています。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人内に苦情・要望検討委員会を設置しており、ご家族に満足度アンケートを実施し、結果を運営に活かしています。また、事業所の入り口に意見箱を設置しています。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議等に参加させていただき、実際にご家族へも聞きましたが、施設や職員様の対応にとっても感謝しておられました。今後もアンケートやご意見箱等を通して運営に反映していただければと思います。

10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ミーティングや定期的な個人面談で意見や提案を聞く機会を持ち、事業所内だけではなく、必要時には法人に伝える等しています。また年度初めに事業計画を作成しその際職員の意見を取り入れるようにしています。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	人事考課制度を取り入れ職員一人ひとりが目標を定め、やりがいを感じて働けるように努めています。また、半期に1度目標面談を行い、職員個々の勤務状況の把握を行い、意見を聞き働きやすい職場環境に取り組んでいます。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	人事考課制度について書式を拝見しましたが、項目事に細かく評価が分かれており、やりがいを感じて働けるように工夫されていると思いました。個別面談も効果的に行い、職場環境の整備に努めていただければと思います。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人外の研修にはオンラインにて随時研修参加の機会を設けています。コロナ禍以前は法人内外の研修制度や法人外の研修機会を個々に設けていました。現在は法人内の研修内容を共有するようにしています。		A. 十分にできている B. できている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	オンラインやハイブリッド研修が増えているため、職員の配置状況等を考慮して無理なく参加する機会を持っていただければと思います。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	同業者と交流する機会を作ることは現在できていません。法人内の他事業所との情報交換を行い、サービスの向上に努めています。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	洗濯干し・洗濯たたみ・テーブル拭き・食事の盛り付け・米とぎ・下膳の手伝いなど個々で出来る家事活動やレクリエーション活動など、その人その人に合った役割を職員と一緒にいただいています。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	かかりつけ医や知人との関係が継続できるよう努めています。また外出の機会を持ちご希望の場所に職員やご家族と一緒にでかけています。	馴染みの人や場との関係継続の支援はしっかりとされていると思います。		

II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ご利用者個々の意向に添うようコミュニケーションを図りケアに繋がっています。また、ご本人が希望や意向を職員に伝えることができないご利用者に関しては、ご家族の意向を伺うなどしてケアに活かしています。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	モニタリング時・介護計画作成時に関係職員やご家族、聞き取りを行うことができるご利用者にはご本人と話し合いを行い、課題、意向を検討しています。また、ご利用者の状態に合わせ随時カンファレンスを実施し、主治医の意見も参考にし現状に合わせたプランの見直しを行っています。	介護計画はご本人の生活を支える大切なものなので、関係者との十分な話し合いは必要だと思われます。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ご利用者の生活の中で自然と職員とのコミュニケーションを行うことができていると感じました。今後もご家族、主治医や関係職員と連携し、支援に反映いただければと思います。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	日中の様子、夜間の様子を個別の記録に記入し、その情報を共有しています。気づきや状態変化などを連絡ノートや申し送りを通じて職員間で共有し日々のケアや介護計画の作成、見直しに活かしています。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ご利用者の細かな変化は申し送りノートや引き継ぎが重要であると考えます。変化があれば早期に対応できるようこれからも職員間で適切に共有していただければと思います。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	法人内の他事業所や協力医院と連携を図り、可能な限りニーズに合わせた対応ができるよう努めています。ご利用者の高齢化・重度化に対応できるよう職員の技術や知識の向上にも努めています。	最近の傾向として入所時から重度化の傾向があると思われます。看取りも行っておられニーズに対応されておられます。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍での外出制限も徐々に緩和していき8月頃より地域の行事や知人との交流も行えるようになってきています。	コロナ禍以前のように地域との交流も徐々にされるようになってきておられます。		

21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ご本人・ご家族の要望を伺いかかりつけ医を受診されています。ご利用者の加齢や重度化によって今までのかかりつけ医の受診が困難になられた際にはかかりつけ医の変更等の相談をご家族・医療機関と行っています。また、法人内の医師の定期回診、訪問看護による定期健康チェックを行い協力関係を築いています。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入院に際してはかかりつけ医からの紹介によって細かな情報提供・情報共有を行っています。また入院期間中・退院前には早期退院ができるよう病院の地域連携室等と細目に連絡を取り合ってその都度ご家族にも報告を行っています。中間カンファレンス・退院前カンファレンス等に参加し情報共有・情報交換を行っています。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	往診やかかりつけ医との連携によって、入院された方が無事施設へ退院されたケースもあることを確認しました。今後も主治医、関係機関と連携を密にし、ご利用者とご家族が安心できるように努めていただければと思います。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	重度化や終末期に関しては看取り介護指針を定め、事業所でできることを契約時に説明を行いご家族・ご本人の意向を伺っています。またご本人の状態の変化によってその都度ご家族と話し合いを行っています。終末期にはご本人、ご家族の希望に添った看取りケアが行えるよう、訪問看護、かかりつけ医との連携を取りご家族との話し合いの場を設けています。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	少子高齢化やグループホームご利用者の平均介護度の重度化によって、今後ますます終末期のあり方、看取りについては需要が高まっていくものと思われます。いつ訪れるかわからないことも多いため、日頃からご利用者、ご家族と話し合う機会を積極的に設けていただければと思います。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	事業所内で勉強会を行い、急変時に対応できる実践力を身につけるよう努めています。また、緊急時連絡マニュアルを備え、全職員が把握しています。また訪問			

				看護と連携し日頃からご利用者の情報共有を行っています。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	火災は年に2回消防職員の指導の下訓練を行っています。水害は大雨・台風の際は法人本部と連携し早めに近隣の法人施設の2階に避難を行っています。また運営推進会議を通じご利用者の状況をご理解いただき、火災時等のご協力をお願いしています。	訓練時職員の方はよく動かれ消防とも連携されていた。また大雨や台風時河川の増水が予測される際には農業用水路の水門の解放の管理を地元住民がされている等協力体制をとられている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	施設周辺には川や山もあるため、水害やその他の災害時を想定した訓練が重要かと思われます。消防職員との連携も行ってくださっていると今後様々な場面、状況を想定して取り組んでいただければと思います。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ご利用者個々の生活歴・病歴を把握し人格を尊重し、個々に合った声かけ、対応を心がけプライバシーを傷付けないようケアにあたっています。また、勉強会やミーティングで話し合い職員の意識統一を図っています。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	施設内には、テレビを観るため、畳の上で休息するため、ご利用者、職員とコミュニケーションを図るため、屋外で自然を感じる場所等とゾーニングができているように感じました。今後ご利用者の意向に合わせて個別対応をしていただければと思います。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ご利用者個々の生活歴や習慣、性格を把握し、個々のペースを大切に支援しています。話を伺うことを大切に、その時の体調や状態、ニーズに合わせた対応を行うよう心がけています。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	食事のメニュー表を掲示しメニューをご利用者と話をデザートや飲み物等欲しいものがあればその都度伺っています。また準備や盛り付け食後の片付けなど個々に興味を持たれていることを職員と一緒に無理なく行っています。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ご利用者のできること、やりたいことを見極め、積極的にご利用者が参加できるように取り組まれていると感じました。季節感や誕生日会等、五感をつかって楽しめるよう今後も無理なく取り組んでいただければと思います。

29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの状態、好みに合わせて食事形態や量、飲み物など工夫しています。おかずをあまり食べようとされないご利用者には細かく刻んで味噌汁に入れたりしています。日中一度にたくさん飲まれない方は夜間のトイレ後に少しずつ飲んでいただいたりされています。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食後居室に戻られる前に声掛けを行い洗面台にて、個々の能力、状態に合わせた口腔ケアを行っています。ご自分でできる方も仕上げ磨き等をさせていただき口腔内の確認をさせていただいています。また、必要に応じて歯科往診で口腔ケアをさせていただきます。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	口腔状態の確認やケアだけでなく、例えば馴染みの歯科往診があれば入所後も継続して介入をしてもらう等、ご利用者が安心できるようにされていると思われました。口腔状態を清潔に保つことは栄養状態や筋力等影響を及ぼすことも多いため引き続きご利用者に合わせたケアをお願いいたします。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の排泄パターンを把握し可能な限り声掛けを行いトイレ誘導を行っています。また便通に良い食べ物・飲み物を日頃から摂取していただいたり、かかりつけ医に相談し内服薬で便秘の予防に努めています。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	可能な限りご自身で排泄を行うことは自尊心を傷つけないためにもとても大切だと思われまます。今後も職員に負担が大きくなりすぎないように工夫されて取り組んでいただければと思います。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の場合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入浴する日や時間を個々と話しある程度の目安を決めています。あらかじめ曜日や時間を決められた方が良いと言われた方は曜日と時間を決めご自分で着替えの準備をされたりします。その他の方はその都度相談しています。出来るだけ状態や希望、気分に合わせて対応しゆっくり入浴出来るよう支援しています。			

33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、 安心して気持ちよく眠れるよう 支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日中昼寝をされたくないご利用 者や食後は居室で横になりたい ご利用者等、一人ひとりの生活 習慣や年齢・体力等心身の状態 やその日の調子を観察し適切な タイミングで休息の声かけを行 い休んでいただいています。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的 や副作用、用法や用量について理解 しており、服薬の支援と症状の変化 の確認に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者個々の服薬情報をファイ ルにまとめいつでも確認できる ようにしています。月に1度かか りつけ医に薬を処方していただ く際には問診を行い毎月の状態 を確認し薬を処方していただい ています。その際職員間で薬の確 認や変更点についてケース記録 や連絡ノート、申し送りで情報 共有しています。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者の状態や体調に合わせ て内服処方をされていることを 確認しました。問診も個別で 対応していただき、職員間で 変更点を共有することで細 かな変化にも対応できるの ではないかと思っております。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を 過ごせるように、一人ひとりの 生活歴や力を活かした役割、 嗜好品、楽しみごと、気分 転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者個々の能力やニーズ、 状態に合わせて個別で役割 や楽しみをもつていただき、 生活の中で気分転換出来る よう支援しています。	洗濯干し・洗濯たたみ・米 とぎ等家事が得意だった方・ 食べるのが好きな方、お 話をするのが好きな方等 それぞれの現在の状態に 合わせて支援されておられ ます。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望 にそって、戸外に出かけられ るよう支援に努めている。ま た、普段は行けないような 場所でも、本人の希望を 把握し、家族や地域の人々 と協力しながら出かける ように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	気分転換に散歩のご希望 があれば近くの神社まで かけています。外の空気が 吸いたい・景色が見たい 時にはいつでもウッド デッキに自由に入出 りできるようにして います。またご本人・ご 家族の要望を伺い自 宅や親せき宅などに 出かけています。	近隣を職員の方と散歩 をされたり、買い物を されたり、祭りや地 域行事の見学など様 々な外出をされてい ます。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、 お金を所持したり使える ように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人のご希望があればご 家族と相談の上、金額・ 管理方法を確認しご本人 に所持していただい ています。			

38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人のご希望があればいつでもご家族や知人へ電話をかけられるようにしています。また手紙のやり取りにおいても個々に必要な援助を行っています。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	共有スペースはフローリングのダイルーム・畳スペース・ウッドデッキとゆとりのある空間で安全面にも配慮し必要な個所に手すりを設置し床は段差のないバリアフリーとなっております。ダイルーム・畳スペースにはソファやテーブル、ウッドデッキにはベンチを設置してご利用者同士・ご利用者と職員が一緒にくつろぎやすい空間を作っています。また、季節を感じられる作品を掲示するなど工夫しています。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	共有スペースには季節を感じられる大きな展示物もあり、床暖房や実際の本を使用された勾配天井等視覚的にも体感的にもくつろぐことができると感じました。今後も安全面に考慮しつつ居心地の良い空間作りをしていただければと思います。

IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)

40		本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日の暮らしの中でご利用者との会話を大切にしています。ご自分の思いを伝えられる方は思いを聞き、思いを伝えられない方は表情や声掛けの反応等から思いをくみ取り意向に沿った支援を行っています。			
41	本人主体の暮らし	本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人・ご家族にお話を伺ったり、事前面接の情報、入居時のサマリーや生活歴などの情報をもとに、それぞれに必要なケア、支援を行っています。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々のバイタル測定や定期的にかかりつけ医の受診・往診を受け、体調不良時には訪問看護や医師に報告相談し、必要なケアや支援を受けています。また安全面・環境面についても個々の状態の変化に応じて必要なものは		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	訪問看護不在の際には現場職員による判断が必要になることもあるかと思えます。そのため日頃から主治医や訪問看護との連携は重要であり、ご利用者の細かな変化に対応できるよう連携を強化していただければと思います。

				設置や購入し支援を行っています。			
43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	食後のコーヒーや一番風呂など個々の希望を伺い、生活歴などの情報を参考にして、ご自分のペースで楽しみをもって過ごせるよう支援を行っています。一人ひとりのペースを尊重した支援を行い、それぞれの習慣にあった生活を送っています。			
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	育てていた花や入所前にご自宅で使用されていた化粧台・イス・人形・楽器・ご家族の写真、作品等を居室に飾っています。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ご利用者それぞれの思いでの品や観葉植物等を飾られており、個性のある空間であると感じました。また施設内行事等の掲示も多くあったことからご利用者の皆さんがイベント事に楽しまれている様子がよくわかりました。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	日々の散歩以外に敬老会・町民体育祭・町民祭り・神社の祭り等に参加・見学をすることができました。	近隣を職員の方と散歩をされたり、買い物をされたり、祭りや地域行事の見学など様々な外出をされていました。		
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	できる方は花の鉢植え・水やり・野菜の育成・洗濯干し・洗濯物たたみ・テーブル拭き・シーツ交換などの役割を持ち、季節の飾り付け等をされるなど一人ひとりにあった役割・楽しみを持っていただいています。			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員はご利用者一人ひとりとの毎日の会話を大切にしています。話しやすい雰囲気作りの為個々に合った話題の提供を行っています。また席の工夫も行い同席		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員の方も皆さんご利用者との会話を楽しまれているように感じました。また机を円卓にすることで、ご利用者がそれぞれ視界に入りやすくなり会話が生まれやすい工夫もされていると思います。

				の方との会話を楽しまれるようにしています。			
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々に関わったり、交流することができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	地域の行事に参加することによって知人に会うことができ、現在の様子や昔話をすることができています。	日頃から施設の隣の畑で近隣の友人や知人に会われて話をされている。地域の行事にも参加されている。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	地域との交流も再開でき、また職員と関わる時間も多くなりますので、安心した生活を送ることができていると思われます。	職員や地域との関わりが増え安心の日々を過ごされていると思われます。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	阿戸町にあるお祭りへの参加等、今後は地域との交流の機会が増えていくと思われます。今後世代間交流等を交えることにより地域の人と親しみをもち、意欲的な日々をおくっていただければと思います。

(参考様式4)

事業所名 グループホームくにくさの家

目標達成計画

作成日: 令和 6年 3月 15日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	外出支援や地域との交流を増やす。	一人ひとりの要望に沿った外出・地域との交流ができるようになる。	ご本人・ご家族の要望を伺い個々のニーズに合わせて近隣の散歩、買い物、ドライブお花見などの計画を立て外出支援を行う。また、地域行事の把握のために回覧板の確認や運営推進会議・近隣住民の方から日頃の情報を得て地域との交流の計画を立てる。	12ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。